

おめでとうございます! 統計調査功労者表彰

統計調査員として、長年、統計の普及と発展に尽力された功績に對して、町から5名の方が受賞されました。

石山 一男さん(那須高原)
総務大臣表彰(2019年度経済センサス―基礎調査)



薄井 丈夫さん(梁瀬)
農林水産大臣表彰(2020年農林業センサス)



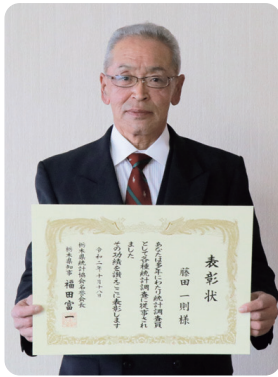
齋藤 幸男さん(大谷)
農林水産大臣表彰(2020年農林業センサス)



森 明美さん(下町)
経済産業大臣表彰(構造統計調査)



藤田 一則さん(綱子)
栃木県統計協会名誉会長表彰



▼問合せ 企画財政課総合政策係
☎ 72 6906

地域循環共生圏を考える

12月25日、環境省主催の北那須地域の地域循環共生圏セミナー「北那須地域における地域循環共生圏コトハジメ」が那須高原ビジターセンターで開催され、那須町、那須塩原市、大田原市の職員や関係者ら約40人が参加しました。

第1部では、環境省自然環境局温泉地保護利用推進室長の岡野隆宏氏が「ゆけむり地域循環共生圏のススメ」を題に、地域にある資源の価値を見直し、しっかり利用することで、地域全体を活性化させることが大切と講演しました。

第2部では、大田原市の津久井市長が地域住民の生活向上のため実施した「地域公共交通の再編」について話し、那須塩原市の渡辺市長が持続可能なまちの構築に向けて、地域で再生可能エネルギーを生み出し、活用する「那須野が原グリーンプロジェクト」について話しました。また、町企画財政課の大沼課長が地方創生と移住促進に向けた取り組みとして、「人々の生活を都市と地方の両方の良さを活かして働く・暮らす・楽しむスタイルに変える「リビングシフト」の候補地として、那須エリアは最適な場所である」と話し、町が実施している「お試しサテライ

トオフィス」について紹介しました。第3部のミニワークショップでは、「那須地域の地域循環共生圏を仮想する」をテーマに、職員と関係者らがグループに分かれ、地域にある資源(温泉、自然、歴史、観光施設等)、地域の中でもっと増やしたいもの(若者、子ども、スポーツ施設等)、もっと減らしたいもの(空き家、渋滞等)を出し合い、地域循環共生圏にどのように関わるかを考えました。

最後に平山町長が「近年多発する自然災害は、地球温暖化が大きな要因であるとされており、そのような背景のもとで提唱されている「地域循環共生圏」は、那須地域にとって新たな価値を生み出すキーワードです。この講演とワークショップは、職員、関係者にとっても貴重で有意義なものになったと思います」と述べ、セミナーを閉じました。



第3部ミニワークショップ
「那須地域の地域循環共生圏を仮想する」